



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月1日

上場取引所 東

上場会社名 タカノ株式会社

コード番号 7885 URL <http://www.takano-net.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 鷹野 準

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 大原 明夫

TEL 0265-85-3150

四半期報告書提出予定日 平成25年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	11,525	6.9	△146	—	△20	—	△140	—
24年3月期第3四半期	10,777	△5.7	△109	—	△15	—	△95	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 △183百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △82百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△9.27	—
24年3月期第3四半期	△6.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	30,765	25,839	84.0	1,700.36
24年3月期	32,954	26,144	79.3	1,720.47

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 25,839百万円 24年3月期 26,144百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,500	14.5	170	—	300	67.0	200	272.6	13.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	15,721,000 株	24年3月期	15,721,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	524,734 株	24年3月期	524,734 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	15,196,266 株	24年3月期3Q	15,196,340 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(5) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年12月31日まで）におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要等を背景として、緩やかな景気回復の動きが見られたものの、欧州の債務危機問題やアジア経済の成長鈍化等の影響による世界経済の減速懸念、デフレの長期化による景気の下押しなどがあり、依然として不透明な状況での推移となりました。

このような厳しい環境のもとで、当社グループは「百年企業となる」を長期経営目標に掲げ、「危機を克服し、新たな成長路線を築く」をスローガンとし、中期経営計画に掲げる「大胆な意識改革・構造改革を行う」、「新しいことに積極的に挑戦し、差別化を進める」、「グローバルの視点で考え、行動する」、「ものづくり+αで新たな価値を創出する」の各方針を進めるべく、引き続き、海外調達の拡大、内外製区分の見直しや製品設計等の標準化を通じたコストダウン、住生活関連機器事業にかかる組織体制の見直し、中国市場向けの積極的な営業活動、医療関連機器の新製品開発の推進などの施策を行ってまいりました。

その結果、住生活関連機器や検査計測機器の販売が堅調に推移したこと等により、当第3四半期連結累計期間の売上高は11,525百万円で、前年同四半期比748百万円（6.9%）の増収となりました。

しかしながら、利益面につきましては、積極的なコスト削減に努めたものの、検査計測装置の販売価格の低下による影響等は大きく、営業損失146百万円（前年同四半期は営業損失109百万円）、経常損失20百万円（前年同四半期は経常損失15百万円）、四半期純損失140百万円（前年同四半期は四半期純損失95百万円）となりました。

【セグメント別の概況】

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

（単位：百万円）

	売上高（外部顧客への売上高）			セグメント利益又は損失（△）		
	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減率	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減率
住生活関連機器	3,569	3,879	8.7%	△422	△285	－%
検査計測機器	4,408	4,854	10.1%	310	156	△49.6%
産業機器	1,102	985	△10.6%	141	52	△63.1%
エクステリア	584	631	8.2%	△133	△91	－%
報告セグメント計	9,664	10,351	7.1%	△104	△168	－%
その他	1,113	1,174	5.5%	△21	10	－%
セグメント間取引消去	－	－	－%	15	11	△25.7%
合計	10,777	11,525	6.9%	△109	△146	－%

（住生活関連機器）

当セグメントは、当社、連結子会社上海鷹野商貿有限公司で構成され、主にオフィス用、福祉・医療施設用の椅子等の製造販売を行っております。

当セグメントにつきましては、引き続き国内および中国オフィス家具市場向け新製品開発に取り組むとともに、中国製造委託体制の構築・海外調達の強化等のコストダウンを積極的に進めました。また、医療・診療空間で使用される製品の開発と販売活動を進めてまいりました。

この結果、首都圏オフィスビルの供給増加にともなうオフィス家具需要の拡大により、売上高は3,879百万円で前年同四半期比309百万円、8.7%の増収となりました。利益面では、生産体制の整備や海外調達などのコストダウンと積極的な合理化に努めたものの、セグメント損失は285百万円（前年同四半期はセグメント損失422百万円）となりました。

（検査計測機器）

当セグメントは、当社、連結子会社タカノ機械株式会社、台湾鷹野股份有限公司およびTakano Korea Co., Ltd.で構成され、主に液晶等の検査計測装置等を製造販売しております。

当セグメントにつきましては、引き続き中国向け液晶検査装置および高精細中小型液晶向け検査装置の受注活動に注力するとともに、高機能フィルム向け等の液晶以外の分野における検査装置の積極的な営業・開発活動を行ってまいりました。また、製品の競争力強化および新規分野への展開を図るため高速光学センサーの開発に注力してまいりました。

この結果、中国向け液晶検査装置の販売増加により、売上高は4,854百万円で前年同四半期比445百万円、10.1%の増収となりました。利益面では、海外調達の推進等、積極的なコスト削減を推進したものの、販売価格の低下等の影響により、セグメント利益は156百万円で前年同四半期比153百万円、49.6%の減益となりました。

(産業機器)

当セグメントは、当社、連結子会社香港鷹野国際有限公司で構成され、主に電磁アクチュエータ等を製造販売しております。

当セグメントにつきましては、半導体製造設備投資の低迷にともない、半導体関連機器向け電磁アクチュエータの需要が低調に推移するなか、中国をはじめとするアジア地域での製造委託体制構築、海外市場への積極的な営業活動および医療関連分野向け電磁アクチュエータの開発に取り組んでまいりました。

しかしながら、織機・半導体関連機器向け電磁アクチュエータの販売減少等により、売上高は985百万円で前年同四半期比116百万円、10.6%の減収となりました。利益面では、製品コストダウンに努めたものの、セグメント利益は52百万円で前年同四半期比89百万円、63.1%の減益となりました。

(エクステリア)

当セグメントは、当社が主に跳ね上げ式門扉、カーポート、テラス、オーニング等のエクステリア製品を製造販売しております。

当セグメントにつきましては、オーニング等の物件受注に向けた積極的な販売促進と営業体制の拡充を図ってまいりました。

この結果、高速道路パーキングエリア・サービスエリア向けオーニングの受注増加等により、売上高は631百万円で前年同四半期比47百万円、8.2%の増収となり、セグメント損失は91百万円（前年同四半期はセグメント損失133百万円）となりました。

(その他)

当セグメントは、当社、株式会社ニッコーで構成されており、ユニット（ばね）製品の製造販売、機械・工具の販売に関する事業を含んでおります。

当セグメントにつきましては、機械・工具の販売が回復基調に推移した結果、売上高は1,174百万円で前年同四半期比61百万円、5.5%の増収となり、セグメント利益は10百万円（前年同四半期はセグメント損失21百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は30,765百万円となり、前連結会計年度末と比較して2,188百万円減少いたしました。純資産合計は25,839百万円となり、前連結会計年度末と比較して305百万円減少いたしました。この結果、自己資本比率は84.0%と前連結会計年度末と比較し4.7ポイント増加いたしました。

資産の部については、前連結会計年度末に対し、現金及び預金が2,925百万円増加する一方、受取手形及び売掛金が2,070百万円、仕掛品が2,323百万円減少したこと等により、流動資産は1,106百万円減少し、20,026百万円となりました。固定資産合計は、主に投資有価証券が829百万円、投資その他の資産のその他に含まれる長期性預金が250百万円減少したこと等により、1,082百万円減少し、10,739百万円となりました。

負債の部については、主に受注損失引当金の減少265百万円、液晶検査装置にかかる前受金が販売にともない取り崩されたことによる減少1,430百万円等により、負債合計は1,882百万円減少し、4,926百万円となりました。

純資産の部については、主に当第3四半期連結累計期間における四半期純損失の計上および剰余金の配当の支払にともなう利益剰余金の減少262百万円等により、純資産合計は25,839百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期通期連結業績予想につきましては、現時点で、平成24年5月11日に公表いたしました業績予想と変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであり、実際の業績は、今後発生する様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産（建物を除く）については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,945,764	12,870,865
受取手形及び売掛金	5,945,239	3,874,605
有価証券	52,291	250,923
商品及び製品	402,262	739,479
仕掛品	3,434,379	1,110,592
原材料及び貯蔵品	725,040	726,541
その他	628,399	453,920
貸倒引当金	△279	△140
流動資産合計	21,133,098	20,026,787
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,422,811	1,354,597
機械装置及び運搬具（純額）	520,303	468,965
土地	4,248,893	4,251,378
その他（純額）	254,332	343,605
有形固定資産合計	6,446,341	6,418,546
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	3,472,098	2,642,498
その他	1,573,364	1,360,295
貸倒引当金	△7,168	△7,085
投資その他の資産合計	5,038,294	3,995,708
固定資産合計	11,821,137	10,739,057
資産合計	32,954,235	30,765,845

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,634,661	2,489,657
未払法人税等	8,059	15,940
前受金	1,731,144	300,560
賞与引当金	263,949	137,061
役員賞与引当金	4,600	—
受注損失引当金	366,847	101,416
その他	973,043	896,825
流動負債合計	5,982,305	3,941,461
固定負債		
長期借入金	215,000	369,996
退職給付引当金	393,625	406,238
役員退職慰労引当金	158,750	159,170
その他	59,841	49,790
固定負債合計	827,217	985,195
負債合計	6,809,522	4,926,657
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,015,900	2,015,900
資本剰余金	2,355,417	2,355,417
利益剰余金	22,062,961	21,800,446
自己株式	△272,421	△272,421
株主資本合計	26,161,857	25,899,343
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,330	△28,149
為替換算調整勘定	△34,474	△32,006
その他の包括利益累計額合計	△17,144	△60,155
純資産合計	26,144,712	25,839,188
負債純資産合計	32,954,235	30,765,845

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	10,777,864	11,525,950
売上原価	9,122,218	9,703,411
売上総利益	1,655,646	1,822,539
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	507,952	533,408
賞与引当金繰入額	28,900	31,165
退職給付費用	34,856	47,061
貸倒引当金繰入額	—	△273
役員退職慰労引当金繰入額	8,850	8,340
その他	1,185,057	1,348,962
販売費及び一般管理費合計	1,765,618	1,968,663
営業損失(△)	△109,971	△146,124
営業外収益		
受取利息	34,498	29,700
受取配当金	17,801	17,186
為替差益	—	36,535
助成金収入	20,876	21,585
貸倒引当金戻入額	69,420	—
その他	19,770	30,876
営業外収益合計	162,367	135,884
営業外費用		
支払利息	2,436	2,961
固定資産除売却損	4,105	1,290
為替差損	50,502	—
コミットメントフィー	8,175	5,073
その他	2,297	1,127
営業外費用合計	67,518	10,452
経常損失(△)	△15,122	△20,692
特別利益		
固定資産売却益	195	12,852
投資有価証券売却益	—	38,061
特別利益合計	195	50,914
特別損失		
固定資産除売却損	796	842
投資有価証券評価損	58,128	133
その他	—	100
特別損失合計	58,924	1,076
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△73,851	29,145
法人税、住民税及び事業税	19,719	23,611
法人税等調整額	1,694	146,478
法人税等合計	21,413	170,089
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△95,264	△140,944
四半期純損失(△)	△95,264	△140,944

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△95,264	△140,944
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21,778	△45,479
為替換算調整勘定	△8,739	2,468
その他の包括利益合計	13,038	△43,010
四半期包括利益	△82,225	△183,954
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△82,225	△183,954
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	住生活関連 機器	検査計測 機器	産業機器	エクステ リア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,569,425	4,408,733	1,102,329	584,017	9,664,505	1,113,359	10,777,864
セグメント間の内部売上高又は振替高	20,559	66,299	10	5,377	92,247	218,848	311,095
計	3,589,985	4,475,033	1,102,340	589,394	9,756,753	1,322,207	11,088,960
セグメント利益又は損失 (△)	△422,471	310,052	141,137	△133,407	△104,688	△21,223	△125,912

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ユニット（ばね）製品、機械・工具等の販売に係る事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益又は損失（△）	金額
報告セグメント計	△104,688
「その他」の区分の損失（△）	△21,223
セグメント間取引消去	15,940
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△109,971

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	住生活関連 機器	検査計測 機器	産業機器	エクステ リア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,879,004	4,854,608	985,654	631,989	10,351,256	1,174,694	11,525,950
セグメント間の内部売上高又は振替高	8,659	8,845	10	8,643	26,158	164,623	190,781
計	3,887,663	4,863,453	985,664	640,633	10,377,414	1,339,317	11,716,732
セグメント利益又は損失 (△)	△285,303	156,143	52,058	△91,077	△168,178	10,215	△157,963

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ユニット（ばね）製品、機械・工具等の販売に係る事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益又は損失（△）	金額
報告セグメント計	△168,178
「その他」の区分の利益	10,215
セグメント間取引消去	11,838
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△146,124

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。